

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	保健課	事業No.	94
事務事業名		乳幼児保健事業	会計	一般会計	
			事業区分	政策	実施区分
			開始	終了	継続
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
			8	共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる	
	分野別計画			飯田市子育て応援プラン	
法令・例規等			母子保健法		
			健康増進法		
			飯田市授乳・育児相談助成事業実施要綱、飯田市産後ケア事業（宿泊型）実施要綱		
事業目的	対象	子どもを産み育てることを望んでいる又は子育て中の市民			
	意図	乳幼児がその発達段階に応じて健全な育ちができる。子育てについての不安が軽減できる			

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	・妊娠届出時の母子保健コーディネーターによる面接と、各機関との連携により妊娠期から支援しました。 ・発達に応じた支援と「弧育て」を予防するため、保健師による2か月児全戸訪問を実施しました。乳幼児健診は、蔓延防止等重点措置発令時も感染対策を徹底し中止することなく実施しました。 ・離乳食講座は、内容を一部変更（実習・試食の中止）しましたが、人数を制限し実施しました。YouTubeを活用した離乳食の作り方の情報発信を始めました。 ・産後間もない時期の支援を充実させるため、産後の家事育児支援事業を開始しました。		会計年度任用職員人件費				7,728
			消耗品費				769
			印刷製本費				962
			通信運搬費				280
			健診医師・股関節脱臼検診委託料				6,133
			産後サポート事業委託料				4
			授乳・育児相談助成事業委託料				650
			産後ケア事業（宿泊型）委託料				570
			報償費				38
過年度国庫支出金清算返金費						543	
		その他の経費				0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	
	乳幼児健診・相談実施回数	回	289	277			
	離乳食講座実施回数	回	24	18			
	乳幼児学級実施回数	回	510	333			
	ライフプランについての情報提供人数	人	450	389			
	授乳・育児相談助成件数	件	500	325			
	産後ケア事業（宿泊型）利用延件数	件	8	9			
	産後ケア事業（宿泊型）利用延利用日数	日	35	25			
家事育児支援利用件数	件	10	1				
3年度決算(千円)	予算額	22,761	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	17,677	(国) 子ども・子育て支援交付金(1/3) 960千円				
	財源の状況	国庫支出金	3,796	(国) 妊娠・出産包括支援事業補助金(1/2) 890千円			
		県支出金	1,200	(国) 母子保健医療対策総合支援事業補助金(1/2、10/10) 300千円			
		地方債	0	(県) 重層的支援体制整備事業交付金(2/3) 1,646千円			
		その他	0	(国) 子ども・子育て支援交付金(1/3) 789千円			
一般財源	12,681	(県) 重層的支援体制整備事業交付金(1/6) 411千円					

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大	中	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
					事	事			
					業	業			
1	1	3	1	9	1	3	2,644	2,470	会計年度任用職員人件費(母子保健コーディネーター)
2	1	4	1	2	1	3	6,218	5,258	会計年度任用職員人件費
3	1	4	1	2	11	1	8,876	7,410	乳幼児保健事業費
4	1	4	1	2	11	2	965	608	すこやか親子・子育て支援事業費
5	1	4	1	2	11	3	4,058	1,931	産後サポート事業費
6									
7									
振返り課題認識		妊娠届時に母子保健コーディネーターによる面談を実施し、必要に応じて妊娠中から産院との連携を図りながら支援を開始しました。フォロー妊婦は増加傾向にあり、産後の育児支援が得られない等の不安を抱える母へ早期からの支援継続が必要です。乳幼児健診・相談の受診率は97%で、未受診者には個別対応し把握率は100%です。新型コロナウイルス感染者の低年齢化に伴い、安全で安心できる乳幼児保健事業の実施が求められています。							
上記の課題解決のための有効策		産後支援の充実のため、家事育児支援事業を開始しました。変化する新型コロナウイルス感染症の感染レベルに応じて、内容の変更、スタッフの増員、受付時間の細分化等行い、安全・安心な乳幼児健診を実施しました。乳幼児学級では、会場、内容の変更をするなど実施できる方法を検討し、感染対策を講じることが可能な会場から再開しました。							
次年度に向けての取り組み		引き続き、妊娠届から継続した支援を関係機関と連携して取り組みます。乳幼児健診、学級等では感染対策を徹底し、親子が安心して参加できる環境を整えます。乳幼児健診では、発達に関する相談が増えているため、人数の適正・専門相談を継続し支援していきます。							